

現代レヴァント諸国の政治構造と  
その相関関係  
調査研究報告書

青山 弘之 編

青山 弘之 末近 浩太 著

2007 年 3 月

独立行政法人 日本貿易振興機構  
アジア経済研究所

# まえがき

本報告書は、日本貿易振興機構アジア経済研究所において実施された 2006 年度研究会「現代レヴァント諸国の政治構造とその相関関係」の調査研究報告書（中間成果報告書）である。同研究会は、ラフィーク・ハリリー元首相（当時前首相）暗殺（2005 年 2 月 14 日）、レバノン駐留シリア軍の完全撤退（2005 年 4 月）、「レバノン紛争」（ヒズブッラーとイスラエル軍の全面戦争、2006 年 7 月～8 月）など、激動の時代のただ中にあるシリア・アラブ共和国とレバノン共和国に焦点を当て、両国の権力構造がこれら一連の政治的事件・出来事のもとでいかなる変容を遂げたのかを分析し、ビラード・アッ=シャーム（シャーム [今日のシリア、レバノン、ヨルダン、パレスチナ／イスラエル、トルコ南部、イラク北部からなる地域の総称] のくにぐに）、さらにはアラブ世界における政治の実態を明らかにすることを目標としている。

2006 年度の研究会合（2005 年 4 月 14 日に第 1 回会合、5 月 26 日に第 2 回、第 3 回会合、9 月 22 日に第 4 回、第 5 回会合、12 月 15 日に第 6 回会合、2007 年 2 月 18 日に第 7 回会合を開催）での議論、および本報告書の作成にあたっては、研究会におけるキーワードである「権力構造」をもってシリアとレバノンの政治体制の解明を試みるとともに、両国の権力構造を構成する政治主体を把握することに力点を置いた。本報告書を 2 部構成とし、前半部（第 1 章）をシリアとレバノンの権力構造そのものの分析に充て、後半部（第 2 章、第 3 章、補章）を両国の政治主体を一覧するための資料としたのはそのためである。

1 年間という時間的制約ゆえに、本報告書の内容は必ずしも完全なものではなく、今後の調査を通じて加筆修正を施す必要があるだろう。だがこの成果を踏まえて、2007 年度研究会「現代シリア・レバノンにおける権力構造とその相関関係」では、最終成果の作成・発表に向けてさらなる情報収集と議論を行う予定である。そのために所内外の同僚、諸先輩方からのご批判、ご助言

を頂き、今後の研究会運営の糧にしたいと考えている。

本報告書の作成にあたっては、東京外国語大学非常勤講師の森晋太郎氏、中東調査会研究員の高岡豊氏、日本エネルギー経済研究所中東研究センター客員研究員の小副川琢氏、在ヨルダン日本大使館専門調査員の江崎智絵氏、東京外国語大学大学院の武田祥英氏、当研究所地域研究センター中東研究グループ長の間寧氏（研究会オブザーバー）、同じく地域研究センター中東研究グループ研究員の渡邊正晃氏（研究会委員、2006年9月より休職）、齋藤純（研究会オブザーバー）より、研究会合などで多くの貴重なコメントを頂いた。改めてここでお礼申し上げたい。

\*      \*      \*

本報告書におけるアラビア語の固有名詞のカタカナ表記およびローマ字転写は、慣例（とりわけ地名）を除き、大塚和夫・小杉泰・小松久男他編『岩波イスラーム辞典』（岩波書店、2002年）の転写法（10～15ページ）に従った。また人名のローマ字転写は索引に一括して収録した。

2007年3月16日

青山 弘之

# 目次

|                   |    |
|-------------------|----|
| 第1章 シリアとレバノンの権力構造 | 1  |
| 青山 弘之・末近 浩太       |    |
| 1. はじめに           | 1  |
| 2. 権力構造とは？        | 5  |
| 3. シリアとレバノンの政治体制  | 7  |
| 4. 「ターイフ体制」       | 14 |
| 5. シリアの権力構造       | 18 |
| 6. レバノンの権力構造      | 24 |
| 7. おわりにかえて        | 33 |
| 第2章 シリアの政治主体（資料）  | 41 |
| 青山 弘之             |    |
| 1. 大統領，副大統領       | 41 |
| 2. 人民議会           | 42 |
| 3. 内閣             | 56 |
| 4. 主な政党・政治組織，政治同盟 | 62 |
| 5. 主なムハーバラート      | 72 |
| 6. バアス党           | 76 |
| 7. 進歩国民戦線         | 84 |
| 第3章 レバノンの政治主体（資料） | 93 |
| 末近 浩太・青山 弘之       |    |
| 1. 大統領            | 93 |
| 2. 国民議会           | 94 |

|                                 |       |
|---------------------------------|-------|
| 3. 内閣                           | 114   |
| 4. 主な政党・政治組織, 政治同盟              | 122   |
| 5. 主な治安組織                       | 128   |
| 6. ヒズブッラー                       | 130   |
| 補章 シリア・レバノンで活動する主なパレスチナ人組織 (資料) | 137   |
|                                 | 青山 弘之 |
| 索引                              | 141   |

# 編著者紹介

青山 弘之（あおやま ひろゆき）———研究会主査・幹事

日本貿易振興機構アジア経済研究所

地域研究センター中東研究グループ研究員

末近 浩太（すえちか こうた）———研究会委員

立命館大学国際関係学部助教授

図 1 シリア地図



(出所) [http://www.lib.utexas.edu/maps/middle\\_east\\_and\\_asia/golan\\_heights\\_rel189.jpg](http://www.lib.utexas.edu/maps/middle_east_and_asia/golan_heights_rel189.jpg) (2006 年 12 月アクセス), [http://www.lib.utexas.edu/maps/middle\\_east\\_and\\_asia/syria\\_wall\\_2004.jpg](http://www.lib.utexas.edu/maps/middle_east_and_asia/syria_wall_2004.jpg) (2006 年 12 月アクセス) などをもとに筆者作成。

図 2 レバノン地図



(出所) <http://almashriq.hiof.no/lebanon/300/355/occupation/maps/occupation-zone.html> (2006 年 12 月アクセス), [http://www.lib.utexas.edu/maps/middle\\_east\\_and\\_asia/lebanon\\_southern\\_border\\_1986.jpg](http://www.lib.utexas.edu/maps/middle_east_and_asia/lebanon_southern_border_1986.jpg) (2006 年 12 月アクセス), [http://www.lib.utexas.edu/maps/middle\\_east\\_and\\_asia/lebanon\\_pol\\_2000.jpg](http://www.lib.utexas.edu/maps/middle_east_and_asia/lebanon_pol_2000.jpg) (2006 年 12 月アクセス) などをもとに筆者作成。